

キャンパス 万華鏡

地域貢献する大学²

大学では、地域のニーズや課題に応えるべく地域と連携し課題解決にむけて、教育・研究を行い、地域社会の持続可能な発展に寄与している。日本私立大学協会の加盟大学に呼びかけ集まった活動を紹介する。



四国大学(徳島県)

経営・経済を学ぶ学生達による地元企業の魅力発信

なぜ若者が仕事を求め都会に出ていくのか?それは、地元にも魅力的な企業があっても、既存の就活サイトが地元の若者に刺さる形で情報を届けてくれない点に一因があるのではないかと。そこで、四国大学経営情報学科・白井ゼミの学生有志は、徳島県等とも連携、若者の県内雇用促進という社会課題解決に向け、地元の魅力的な企業を順次訪問。社長と直接対話し、地元企業の強みと魅力を自ら学びつつ、その内容をSNSで動画発信し、社会と情報共有する取り組みに挑戦している。



自治体や小学校と連携し教育支援

敬愛大学(千葉県)

敬愛大学の教育ボランティアサークル「Iris」は、地域の小学校に通う子どもたちを対象に、「学びと遊び」を融合させた教育イベントを企画・運営している。例えば、牛乳を使って生分解性プラスチックを作る企画では、身近な素材を使って子どもたちの環境問題への理解を深めることができた。ストローを使った円錐台型の紙飛行機作りの企画では、より遠くに飛ばすための工夫を考えてもらい、子どもたちの探究心を育んだ。毎月、自治体や小学校等と連携し、子どもたちへの教育支援を続けている。



美作大学(岡山県)

美作大学では、2024年に津山市地域商社「曲辰」からの依頼を受け、同大学食品加工サークルの学生が津山産の「そすり肉(骨の周りに残った牛肉を削り取ったもの)」を照り焼き風ソースに仕上げた「そすり」を開発し、商品化した。同商品は今年4月に行われたニコニコ超会議では完売するほどの人気を誇った。このように地域と連携した商品開発は地域経済の活性化にも寄与しており、学生たちにも貴重な学びの場を与えている。

食品加工サークルとチームミミデザインが「ニコニコ超会議」で地元をPR!



空家家をリノベーション

岐阜女子大学(岐阜県)

深刻化する空き家問題に対応するため、各地で空き家をリフォーム・リノベーションして活用を図る取り組みが進められている。岐阜女子大学の建築デザイン専攻では、行政や企業と連携し、空き家のリノベーションデザインの提案や実際の施工に携わることで、学生の実践的な学びを得ると同時に、空き家の有効活用を推進し、地域の課題解決にも貢献している。さらに近年では、高齢化が進む公営集合住宅の入居率向上を目指し、住戸の改修提案や施工にも取り組むなど、活動の幅を広げている。こうした実践を通じて、学生は専門性を高めると同時に、地域社会とのつながりを実感している。



地域の高齢者の健康を支える

森ノ宮医療大学(大阪府)

森ノ宮医療大学は、大学と同じ地区にある南港太陽の町に居住する高齢者を対象に「もりもり健康長寿サロン」を毎月開催している。地域の高齢者の支援サポートはもちろん、学生にとっても将来に向けた大きな学びに繋がると考え、この講座では教員のサポートのもと学生が主体となって準備・運営し、健康豆知識や同大学オリジナル体操の実演等を行う。今後も地域に根付く医療系総合大学として、地域・社会貢献の責務を果たしていく。



北海道科学大学(北海道)

北海道科学大学のデザイン学・建築学を学ぶ札幌在住の大学生たちが、ニセコ羊蹄エリアの学官地域連携体制の中で、ドライブ体験、自然景観を堪能するビューポイントパークの魅力向上に取り組んでいる。具体的には、現地調査や地域との意見交換を重ね、休憩施設の設計案や活動を伝えるコンテンツを制作。地元を愛する人々の想いや知見に触れながら、景観デザインや情報発信の実践的なスキルを習得している。

シニックバイウェイ北海道が20年にわたり育んできた地域と道路行政の信頼関係

「美郷茶」を味わいながら「神楽」も楽しむ!



広島経済大学(広島県)

観光を専門に研究する広島経済大学の藤原ゼミでは、地域活性化の課題を抱える安芸太田町(広島県)と美郷町(島根県)をつなぎ、両町をPRする地域ブランド商品の共同開発に取り組んだ。美郷茶を使ったスティックタイプのお茶「ちゃばこ」を企画し、パッケージに両町共通の伝統芸能である「神楽」をデザインした。ペットボトルの水の中に入れて振るだけで、いつでも本格的な緑茶の味わいが楽しめる。道の駅などで販売し、賑わいづくりに一役買っている。



行政と連携授業「地元学」で地域課題を考える

広島国際大学(広島県)

広島国際大学の社会学科の1・2年生を対象とした「地元学」の授業は、地域創生の取り組みについて理論と現実を考察する科目で、行政と連携した授業を展開している。4月の特別講義では、呉キャンパスのある呉市の新原芳明市長が同市のまちづくりをテーマに講演。その後の意見交換会において、将来的に地域の中核を担う学生らが若者の視点で率直な疑問や意見を新原市長と交わし、対話を通じて地域課題を捉える視野を育んだ。



東京聖栄大学(東京都)

かつしかの元気食堂推進事業

東京聖栄大学では葛飾区との協働による地域の食環境整備の一端を担う活動を行っている。葛飾区の外食の食環境整備、地域に根ざした食育の推進、区民の健康の維持・増進を図ることを目的とした「かつしかの元気食堂推進事業」では、学生らが葛飾区内の食育サポート店で使用するメニューの考案や、弁当販売を実施した。



愛知学泉大学(愛知県)

愛知学泉大学こどもの生活学科と岡崎市教育委員会において、教育連携協定を締結。大学周辺の小学校や幼稚園、保育所へ学生たちが定期的に授業補助などを行うほか、小学校や中学校の教員を対象にした講座を行い、教育現場で奮闘する先生方の支援も行っていく。(写真は「熱中症対策の講座を小生に実施」)

小学校や幼稚園の授業補助



明治薬科大学は、大学所在地の清瀬市との共催で、2021年度から「清瀬子ども大学 薬学の部〜明薬ラボへようこそ〜」を開催している。このプログラムは、小学5年生から中学1年生を対象に、薬学の面白さや実験の楽しさを伝えることを目的としている。大学生がアシスタントとして参加し、実験やグループディスカッションを通じて、子どもたちの学びをサポートしている。地域貢献と同時に学生も貴重な経験のできる機会となっている。

地域の子どもたちをラボに招待

明治薬科大学(東京都)

特集企画「キャンパス万華鏡〜写真が語る大学の横顔〜」は、平成21(2009)年から続く企画。

2021年〜2025年9月までの「キャンパス万華鏡」は日本私立大学協会HPでも掲載している。



年数回、加盟大学へ募集のご案内をしています。ぜひ、貴学のお取組みもお待ちしています。